

阿づまの光

A Z U M A N O H I K A R I



真似をせよ善いまねをせよその内に

自分のものとなりてくるなり

【尊師 出口日出磨】



教主さまお作

灰釉茶盃 「奄美」

奄美土／奄美大島ガジュマル釉

「お供え物、写真に撮っていいですか」

祭務課長 椎野 恭三

「麻柱の道の教をうべなひて綾の高天原に勇みすすまむ」

〔大本讚美歌〕第九六の五

東京宣教センターの祭務課では、葬儀をはじめ年祭、慰霊祭に出向させていただく機会が多々あります。そういった出向先のご家庭では普段、東京本部でお目にかかれぬ方々が大勢おられ、新しい出会いがあります。

例えば、先日ある信徒のご家庭で年祭をさせていただいた時のことです。そのご家庭では、80歳代の奥さまが信仰熱心で、小生が訪れると、息子さんご夫婦、すでに結婚され別所帯のお孫さん、曾孫さんまでもが出迎えてくださいました。その奥さまとは数年前から顔見知りであったのですが、そのご家族の方たちとは初めての出会いでした。

ご神前でご挨拶をし、周りを見ますと、神饌物がきれいに洗われて並べて置いてありました。そこで順番にお供えの盛り付けをさせていただき、祭典です。祭典後には直会があり、和やかに話をさせていただいておりましたら、息子さんやお嫁さんから「お供え物には順番とか、あるのですか」と質問があり、私は神饌物の順番をお伝えさせていただきました。すると、「お供え物、写真に撮っていいですか」と聞かれましたので、「いいですよ」と申し上げますと、息子さんは「家族だけで月次祭を行うので、次の祭典の参考にします」と話されました。

大本の信徒家庭に生まれたけれど、大本のことがよく分からな
い。今さら聞くに聞けないなど、そうした方々は大勢おられると
思います。そのような人たちにも、祭典出向の折には、出会えるチャ
ンスがあります。少しの時間でも、大本に触れていただき、大本
でよかつたな、と思っていただけのように、また大本の近況や行
事を紹介させていただき、聖地や東京本部にも参拝していただ
けたらと願う次第です。



9月の月次祭を執行 長寿祝賀式典を開催

9月の東光苑月次祭（長寿感謝祭・交通安全祈願祭）並びに秋季合同慰霊祭は9月8日午前10時30分から、齋主・椎野恭三祭務課長のもと執行され、230人が参拝した。祭員は埼玉主会が、伶人は二弦の会関東支部、大本神諭拝読は中島浩山梨主会長が担当。東光庵では、添釜がかけられ、高野社中が担当した。



当日列席者 米寿＝柳澤伸宣（群馬）、武田寿賀子（茨城）、永沼久枝（山梨）、片桐脩三（東京）、北里彬（東京）
喜寿＝大塚愛子（茨城）、石川直子（茨城）、森茂樹（東京）、大野良子（神奈川）、佐藤順一（神奈川）、上山ゆみ子（神奈川）、佐々木光野（神奈川）、丸山拓夫（神奈川）



秋季合同慰霊祭



喜多流仕舞「融」（高林呻二氏）

続いて、長寿祝賀式典が行われ、列席者13人を紹介。石井宣江直心会関東東区連合会常任委員が祝賀を述べた。その後、長寿者を代表して神奈川主会横浜港北支部の佐々木光野さん（喜寿）に記念品が授与され、ついで東京主会梅香分所の森茂樹さん（喜寿）が答辞を述べた。この後、長寿者は参拝者に拍手で見送られ退場した。なお、本年の関東・東北教区、新潟分苑の長寿該当者は、白寿4人、米寿35人、喜寿68人。

また、1階ロビーでは愛善みずほ会DOMOの出張販売が、また『まつのよ』（第十一号）など書籍販売が行われた。



東光苑オンライン講座

11月25日（月）19：00～

大本の芸術

茶盃【みろくの春・みちのくの春】、より深い鑑賞のために

講師：金重 巖（備前焼陶芸作家）



東日本大震災復興復旧への長い道のりを歩んでいる今を…

【みろくの春・みちのくの春】のお茶盃の美・メッセージをこれからの日本に生きる若い方たちにお話をさせていただきます。

大本東京本部ホームページをご覧ください！

自己を見つめる集い ～鎮魂と浄書～

何かと目まぐるしい毎日。時間に追われて、気づかぬうちに心と体のリズムが崩れがちです。そのような時こそ、気持ちを沈めて心と体の調和をはかりたいものですね。ご神前で鎮魂と浄書によって、自己を静かに見つめてみませんか？

日時 11月23日（土）午後1時30分～4時
会場 大本東京本部・東京宣教センター
内容 鎮魂 『大本神諭』の浄書
参加費 1000円
定員 20人（定員に達し次第、締め切り）
申込 TEL：03-3821-3701（担当・西山）
Mail：k-nishiyama@oomoto.or.jp
締切 11月16日（土）

東京宣教センター愛善宣教課【担当・西山】

教本1～3級認定講習会

～み教えを正しくお伝えするために～

日時 10月20日（日）午前9時～午後5時
※終了時刻は各認定級で多少前後します
会場 大本東京本部・東京宣教センター
対象者 大本信徒
参加費 1,000円（昼食、資料代を含む）
※実践リーダー教本（「初級編」525円、「中級編」734円）をお持ちでない方は別途ご購入いただきます。
申込先 東京宣教センター愛善宣教課（担当・西山）
Mail k-nishiyama@oomoto.or.jp
Tel 03-3821-3701 / Fax 03-3821-5283
締切 10月13日（日）

11月 東光苑祭典・行事予定

3日（日）午前10時30分
開教132年大本開祖大祭遙拝祭

10日（日）午前10時30分
東光苑秋季大祭・新穀感謝祭・七五三詣り

23日（土）午後1時30分
自己を見つめる集い（鎮魂と浄書）

25日（月）午後7時
東光苑オンライン講座（配信）

講師 金重 巖（備前焼陶芸作家）
講題 大本の芸術
茶盃「みろくの春・みちのくの春」、より深い鑑賞のために